

校長室だより(No7)

HP用
R4. 7. 7

「おはようございます！」

今、仲よし委員会が中心となり、「最高のあいさつをしよう！」を合い言葉に、全校であいさつ運動に取り組んでいるところです。あいさつができた児童は、仲よし委員会から緑のシールがもらえます。そのシールを貼ることで、「すだちくん」の顔を完成させる取組です。正面玄関のすだちくんは、みんなのがんばりで、もとの「笑顔のすだちくん」になっています。

さて、7月に入り、暑さが厳しくなってきましたが、この時期にしかできない活動に子どもたちは取り組んでいます。過日には、プールでの学習で専門性のある講師を招き、3・4年生が楽しんで活動しました。顔がつけられるようになったり、長くもぐったり・浮いたり・進んだりすることが少しずつできるようになってきています。

また、ひまわりロード側の庭を見えますと、子どもたちが育てている植物や作物もどんどん生長し、毎朝の水やりと観察は子どもたちの日課になっているようです。中には、収穫した野菜を大事そうにお家へ持って帰る子もいます。

学習面では、タブレットを使った学習も進めています。1年生も初めてタブレットを使った学習を行うクラスもあり、友達と協力しながら楽しく活動できています。6年生では講師をお招きし、歴史学習で「勾玉（まがたま）づくり」を体験しました。

放課後には、金管・合唱の練習だけでなく、「水泳検定会」に向けた練習も始まっています。少しでも自分の泳力を伸ばそうと、一生懸命に取り組んでいる最中です。

そして、保護者の皆様には、6月30日の「引き渡し訓練」に多数のご参加をいただき、ありがとうございました。地震・津波を想定し、保護者の皆様に確実な「お子様の引き渡し」をさせていただきました。幼稚園の園庭を自家用車の入口とし、小学校の正門を出口とさせていただいたおかげで、交通の混雑もなく円滑に行うことができました。

さて7月4日には、今年初めての「台風接近」について、次のように話をしました。

明日、台風が徳島県に接近すると言われています。

みなさんはどうですか？台風に来てほしいですか？来てほしくないですか？

「来たら困ることもあるけれど、学校が休みになったらいいな。」と期待している人もいるかもしれませんね。

みなさんのように、他にも来て欲しい気持ちと来て欲しくない気持ちが半々の人がいます。だれでしょうか？・・・そうです。農家の人です。

今年は「梅雨明け」が早く、作物に十分な水がいきわたっていませんでした。ですから、この台風が連れてきた雨は「作物が喜ぶ雨」なのです。

一方で、台風による被害も心配です。強い風や多すぎる雨により、作物だけでなく、私たちの暮らしにも大きな影響が及ぶ場合があります。やはり、台風が来ることは心配ですね。

しかし、ここで大切なことは「自分にできることを考え、行動する」ことです。

台風は「こないで！」と言っても、来るときは来ます。そのことを心配し過ぎても、現状は何もかわりません。大事なことは「台風がきても大丈夫なように備えておく」ことです。風に飛ばされそうな物は家の中や軒下に避難させておく、飛ばないように固定しておくなどです。もちろん、台風が来るときに外を出歩いたり、川などを見に行ったりしては絶対にいけません。

まず「自分にできること」や「自分で変えられること」に目を向けて生活していきましょう。そして台風が来ても「自分の命は自分で守る」ように備えていきましょう。

これからのシーズンは台風や大雨などの自然災害に加え、熱中症、増加の傾向が見られる「新型コロナウイルス」感染にも気をつけなければなりません。しかし、心配しすぎるのではなく、「新しい生活様式を守る」こと、「災害に備える」ことなど、「自分にできること」や「自分で変えられること」に焦点をあて、行動していくことが大切です。この機会に今一度、お子様と防災や減災、健康管理についてお家でも話し合ってみてください。